

【土岐市立泉西小学校】質問事項

※役員選出について

- ・役員見直しは三役で相談されましたか？会長が案を提案されたのですか？

A 本部役員会で検討しました。

- ・本部役員をすると何かが免除になるなどありますか？・本部役員を一度やると今後役員をやらなくてもよいなどという約束事がありますか？

A 2年間の役員免除（6年生の場合は、中学校で役員免除になります）

- ・学級委員を廃止して不都合はなかったですか？懇談会の内容などは、どのような発信をされていますか？

A もともとの主な仕事が懇談会の司会でした。本部役員で代役を務めることができたので、特に不都合はありません。役員定数の削減につながりました。

懇談会の内容は、各担任の先生が学級通信等でお伝えしています。

- ・本部役員の仕事を低減した結果、役員はきまりやすくなったか？

A 立候補もあり、決めやすくなりましたが、「子ども会育成委員」だけは休日の仕事が多く、選考に時間がかかりました。

- ・PTA 活動を見直すことで役員を引き受けやすい環境になりましたか？

A 上記

- ・学級委員をなくし本部役員が各学年の長を選出する事は本部役員の負担になりませんか？変革して良かった点課題などあればお聞かせください。

A 特に負担感はありませんでした。本部以外の役員を減らすことは、より多くの人の中から本部役員を選出できるので、よかったですと思います。また、様々な家庭の現状を加味すると役員をできない方もいるので、そのような方への配慮もできるようになりました。

- ・評議員を減らして活動の内容をどのように分担しましたか？

A 各委員会で活動内容そのものの見直しを図り、内容はもちろんのこと、評議員会の会議の回数も減らしました。

- ・役員数の削減や役割の変更で PTA 規約が関わってくると思うのですが、規約はどのようにされましたか？また PTA 会員さんの承認などはどうされましたか？

A 平成30年度から令和2年度の実質3年間をかけて、計画的に規約改正を行い、毎年4月に開催するPTA総会でPTA会員の皆さんに承認をいただきました。そのため、特に、臨時総会はありませんでした。

- ・本部役員数の見直しを実施してデメリットはありましたか？事前に予想したデメリットはどのように解決しましたか？

- ・役員数を減らして何かの作業に支障が出ませんでしたか？

A 活動を進めていくうえで人数不足が心配されました。しかし、母親委員会の活動の

ように、ボランティアを募るなどして協力者を得ることができ、人員不足を補うことができました。快く引き受けていただけの方が多く、有難く思いました。

- ・変革の際に、活動内容の分担をどのように行いましたか？
- ・組織再編時に意見が分かれた時はどのようにまとめましたか？

会員の反応はどうでしたか？

A 他校のPTA組織や活動内容を参考にして再編しました。

※地域との関わり、行事関係

- ・資源回収などどのようにされていますか？

A 1回目は三密を避けるために、個別懇談会の折、会員各自に学校へ持ってきていただきました。また、PTA 会員以外では、学校運協議会の皆さんの協力でたくさんの新聞を集めていただくことができました。

2回目は、例年通り PTA 会員が各地区で回収し、それを学校へ運び込む形で実施しました。

- ・校舎清掃は役員だけで他の保護者は行わないのですか？学校からの依頼ですか？自主的な活動ですか？

A PTA本部役員の「何かできないか」という自主的な思いと、先生方の負担が大きいので少しでも軽減できないかという学校側の思いが一致して実施に至りました。

- ・戦争の頃の話をする講師の方の確保は今後も出来ますか？

A 戦争を体験した語り部の高齢化が心配されますが、校区にたくさんの史跡があり、「戦争を語る会」以外にも多くの「地域歴史ガイド」がいます。学校運営協議会の協力を得ながら、学習の目的に応じて講師を依頼し継続していきたいと考えています。

- ・地域力の高さは何ですか？

A 学校を取り巻く環境において、身近な課題に対して地域と協力しながら解決していくための連携とつながり。

- ・地域学校協働活動とコミュニティースクールの一体的推進についてはどのように考え取り組んでいますか？

A 今年度から、コミュニティースクールが本格的に始動しました。今年度は制限が多かったため、思うように活動ができませんでした。推進委員の皆さんが、来年度以降にどんな活動ができるかを話し合っています。PTAもコミュニティースクールの共催団体として、参画の仕方を検討しています。

- ・保護者がPTA活動に関心をもつていただくためにしていることは何ですか？

A 各委員会での活動を広報誌や学校だより等で紹介していること。また、そういった活動に積極的、協力的に参加していただくように啓発すること。

- ・コロナ禍で、活動で工夫していることはありますか？

A 三密回避が最優先となり、活動内容を縮小もしくは中止してきました。

- ・地域との連携では誰がどのように声掛けしているのか？
A 今後は学校運営協議会を中心にして連携を図っていく予定です。
- ・地域との連携について具体的にどのように自治体や商工会などと連携していますか？
活動予算はどうされていますか？
A 公民館長、元区長、敬老会代表の方々が学校運営協議会の推進委員となってくださいました。
- ・母親委員会の活動で募られたボランティアは地域の方でしょうか？どのように声掛けしていますか？地域ボランティアに参加してもらいやすいように工夫したことは何ですか？・本活動が成功した要因として考えられるものは何ですか？・役員の仕事の軽減の為に収集したボランティアは期待通りの参加率でしたか？
A 母親委員会の活動として陶芸を行いました。「陶磁器のまち」である土岐市では、PTAの役員や保護者の中にも陶芸関係の仕事をしている方が多く、母親委員会の呼びかけに多くの方が協力してくださいました。
- ・地域の人に学校行事に参加していただくためにどのように取り組んでいますか？
A 保護者と学校運営協議会の推進委員以外は、学校行事に参加していません。
- ・コロナ禍で例年行ってきた活動を減らすのに一般会員にどのように賛同得られましたか？
A 実施した活動は、資源回収、奉仕作業、情報モラル講演会（高学年限定）で、多くの行事を実施することができませんでした。一般会員の皆さんには、本部役員会や評議員会での決定に従ってもらいました。（批判はありませんでした。）

※活動・組織について他

- ・会長 1 人と副会長 7 人の情報共有はどのようにしていますか？
A 本部役員会、役員 LINE で連絡を取り合っています。
- ・副会長の詳細な役割分担は？

公民館運営委員
3年担当 少年指導員
6年担当 学校保健安全委員
1年担当 青少年育成委員
5年担当
本部会・評議会 司会
4年担当 会計
2年担当 学校保健安全委員

- ・親子で作る「とっくりとっくん」とは何ですか？

A 同じ土岐市内に徳利の生産で有名な「下石町」という地区があります。その徳利をモチーフにした陶器のキャラクターが「とっくりとっくん」です。

参考資料の写真（インターネットより）をご覧ください。



- ・母親委員会とは家庭教育学級とは違う位置づけになるのでしょうか？紹介された活動の他にどのような事を行っていますか？

A 同じです。名前の変更については検討中です。

- ・母親委員会活動はボランティアを募ったとのことですが、毎回ボランティアのみで、役員の専任はいないということでしょうか？

A 母親委員会の役員もいます。

- ・男性の参加率はどのくらいでしょうか？

A 女性が多いのですが、休日開催の場合は男性の参加も多いです。数値では出していません。

- ・具体的にどのような活動を優先的に残しましたか？

A ※地域との関わり、行事関係の最後の回答を参照してください。

- ・コミュニティースクールとは何でしょうか？・学校運営協議会とは何ですか？

A 平成23年に提唱されて、間もなく10年を迎えます。学校運営協議会ともいい、「地域とともにある学校」を目指して全国の多くの自治体で実施されています。（詳細はインターネット等で調べてみてください。）

- ・PTA活動の内訳が詳しく知りたいです。

評議員さんはPTA活動も兼務されるのですか？

A 兼務します。

- ・分団登校、子供会の運営ができなくなる地区についてどのような対策を考えていますか？

A 「子供の安全第一」を最優先して、分団は合併したり分離したりしながら、登下校しています。

- ・「美しい心」を広めるための活動で「美しい心投書箱」の設置については具体的にはどのような内容を考え、どう運用されているのでしょうか？

A コロナ禍のため、実施に至っていません。

- ・PTA組織の役割分担の見直しで反対される方はいませんでしたか？また反対された方にはどのように対応されましたか？

A 特にありませんでした。

- ・本部役員改革前の役員構成はどんな感じでしたでしょうか？
A 副会長が10名、その他の役員は約3名。その他に学級委員が13名いました。
- ・男女の割合はどのようになっていますか？
A ほぼ半々です。
- ・母親代表はいますか？
A います。母親委員長。
- ・任期を2年とすることでどんなメリット・デメリットがありますか？
A 半数ずつ交代するので、役員を1年間経験することで次年度の引継ぎが容易になり、2年目には安心して役員の仕事ができます。
- ・役員の仕事の見直しで止めた事はなんですか？
A やめるより、仕事を縮小または分担したことが多いです。
- ・無理なく誰もが参加しやすいPTA活動をしていく上でよい方法はありますか？
A 低学年児童やそれ以下の子がいると、家に残して参加することができないので、子供の活動とタイアップさせることを大切にしたいと考えています。
- ・校長先生も毎年「夏休みの作品」を作っていますか？
A はい。
- ・負担を減らす件で、学校側との意見は問題なく一致しましたか？
A はい。
- ・外国人や一人親家庭への対応で、取り組んでいることはありますか？
A PTAからの文書を翻訳して、わかりやすく活動を伝えてもらっています。一人親家庭へは、役員選出の際に配慮しています。